

平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイ・オー・データ機器

コード番号 6916 URL <http://www.iodata.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 細野 昭雄

問合せ先責任者 (役職名) 社長室 室長

(氏名) 真田 秀樹

TEL 076-260-3377

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	35,702	31.9	1,871	380.5	1,941	519.8	1,642	—
25年6月期第3四半期	27,070	△9.9	389	△51.9	313	△64.7	△726	—

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 1,723百万円 (—%) 25年6月期第3四半期 144百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	126.52	—
25年6月期第3四半期	△54.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	33,350	58.4	19,551	58.4	—	—
25年6月期	26,654	67.6	18,280	67.6	—	—

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 19,483百万円 25年6月期 18,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	24.1	2,000	220.0	2,100	293.6	1,700	—	128.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期3Q	14,839,349 株	25年6月期	14,839,349 株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	2,045,351 株	25年6月期	1,604,352 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期3Q	12,979,157 株	25年6月期3Q	13,399,254 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の政策効果により円安・株高基調が続き、企業収益の改善と消費に回復傾向が見られました。また、年度末にかけて消費税率引き上げ前の駆け込み需要も生じました。

当社グループに関係するデジタル家電市場では、スマートフォンやタブレット端末関連分野が引き続き好調に推移しました。また、企業収益の改善にともないIT投資が復調に転じる中、Windows XPのサポート終了による更新需要と消費税率引き上げ前の駆け込み需要が重なり、パソコン関連市場は活況を呈しました。

このような状況の下、当社グループは、経営体質の変革を目指して、設立以来38年に亘り使用してきたコーポレートロゴをリニューアルし、新生アイ・オー・データ機器として収益力の強化と成長基盤の確立に注力してまいりました。市場の変化に機敏に対応すべく、個々の商品力に磨きをかけるとともに、取扱商品の拡充と販路拡大に積極的に取り組みました。また、年度末にピークを迎えるパソコン環境の更新需要の取り込みを狙い、供給体制と営業活動の充実に努めました。そして取引毎の適正利益確保を徹底する利益重視の経営を推し進めました。こうした取り組みが奏功し、売上高は前年同期を上回りました。また、利益につきましても、原材料・商品ともに概ね安定した市況の下、増収にともなう売上総利益の増加により、前年同期を大幅に上回りました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は357億2百万円（前年同期比31.9%増）、営業利益は18億71百万円（前年同期比380.5%増）、経常利益は19億41百万円（前年同期比519.8%増）、四半期純利益は16億42百万円（前年同期は7億26百万円の四半期純損失）となりました。

[メモリ部門]

メモリ部門の売上高は26億85百万円（前年同期比51.0%増）となりました。

メモリモジュールは、パソコンの更新需要にともなう販売台数の増加とDRAM価格に連動した販売価格の上昇により、売上高は前年同期を上回りました。メモリカードやUSBメモリ等のフラッシュメモリは、お手頃価格の普及帯商品の売れ行きが好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

[ストレージ部門]

主力のハードディスクは、当連結会計年度前半は伸び悩みましたが、年末商戦を境にTV録画やパソコンのバックアップ需要は持ち直し、売上高は110億59百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

[液晶部門]

主に企業や官公庁、教育機関等でのパソコン環境の更新需要の盛り上がり連動し、液晶ディスプレイの需要が急増する中、ラインナップと供給体制を整え積極的に案件獲得とシェア拡大に努めた結果、当部門の売上高は前年同期を大きく上回る87億62百万円（前年同期比121.3%増）となりました。

[周辺機器部門]

スマートフォンやタブレットの普及、企業のIT投資の復調等を背景に、主に無線LANやNAS等のネットワーク分野が伸長し、周辺機器部門の売上高は64億42百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

無線LAN関連商品では、最新の超高速規格「11ac」モデルへの買い替え促進や新規ユーザー層の獲得を狙い、環境移行や初期設定時の煩わしさを解消するツールを整備し拡販に努めました。また、スマートフォンで手軽に遠隔地をモニターできるネットワークカメラ「Qwatchシリーズ」について、操作性と機能を磨き、ラインナップを強化しました。NASについては、法人向けモデルを中心に格段の信頼性向上を図るとともに、大容量モデルの展開やクラウドストレージサービス各社との連携強化を積極的に進めました。

マルチメディアおよびデジタル家電関連分野については、各種デバイスに対応した地デジチューナーの他、思い出を記録したVHSや8mmビデオテープを手軽にデジタル化できるビデオキャプチャーの販売が底堅く推移しました。

[特注部門]

デジタル家電関連や通信事業者向けのOEM、特注品の販売を主とする当部門では、前連結会計年度末に一部の大口案件が終了した影響から、売上高は18億75百万円（前年同期比33.5%減）となりました。

[その他]

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売が好調に推移し、売上高は48億77百万円（前年同期比72.1%増）となりました。サムスン電子製SSD（フラッシュメモリを使用した記憶装置）の販売が伸長した他、Verbatim®（バーベイタム）ブランドの光ディスクメディアの販売が堅調に推移しました。また、当連結会計年度より新たにサムスン電子のスマートフォン「GALAXYシリーズ」のモバイルバッテリーやウェアラブル端末『GALAXY Gear』等の関連商品の取扱いを開始しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて66億96百万円増加し、333億50百万円となりました。これは、現金及び預金が6億17百万円、受取手形及び売掛金が36億20百万円、たな卸資産が23億99百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて54億25百万円増加し、137億99百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が8億99百万円、仕入債務等の決済資金として短期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて12億70百万円増加し、195億51百万円となりました。これは、四半期純利益16億42百万円の計上と、従来より連結子会社であった艾歐資訊横山(香港)有限公司を平成26年1月に当社の完全子会社としたこと等によらない、少数株主持分が1億93百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月30日付「平成26年6月期連結業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」において公表しました数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,794	5,412
受取手形及び売掛金	7,890	11,511
商品及び製品	5,018	6,727
原材料及び貯蔵品	1,526	2,216
その他	1,633	1,838
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	20,851	27,693
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,880	2,880
その他(純額)	942	895
有形固定資産合計	3,823	3,776
無形固定資産		
投資その他の資産	134	144
固定資産合計	1,846	1,736
固定資産合計	5,803	5,657
資産合計	26,654	33,350
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,791	6,690
短期借入金	—	4,000
未払法人税等	132	229
ポイント引当金	20	8
賞与引当金	—	269
その他	1,857	1,998
流動負債合計	7,801	13,195
固定負債		
役員退職慰労引当金	110	110
リサイクル費用引当金	324	343
製品保証引当金	98	110
その他	38	38
固定負債合計	572	603
負債合計	8,373	13,799

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,588	3,588
資本剰余金	4,228	4,228
利益剰余金	10,771	12,413
自己株式	△1,000	△1,222
株主資本合計	17,587	19,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	99
繰延ヘッジ損益	521	467
為替換算調整勘定	△136	△89
その他の包括利益累計額合計	432	477
少数株主持分	261	67
純資産合計	18,280	19,551
負債純資産合計	26,654	33,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	27,070	35,702
売上原価	22,451	29,265
売上総利益	4,619	6,436
販売費及び一般管理費	4,230	4,565
営業利益	389	1,871
営業外収益		
受取利息	8	9
仕入割引	56	75
持分法による投資利益	19	53
助成金収入	47	—
その他	39	107
営業外収益合計	171	245
営業外費用		
支払利息	0	4
為替差損	149	76
売上割引	67	89
その他	29	4
営業外費用合計	247	174
経常利益	313	1,941
特別損失		
投資有価証券評価損	11	—
会員権評価損	2	0
事業構造改善費用	391	—
特別損失合計	405	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△92	1,941
法人税、住民税及び事業税	97	257
法人税等調整額	497	15
法人税等合計	595	272
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△687	1,668
少数株主利益	38	26
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△726	1,642

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△687	1,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74	51
繰延ヘッジ損益	503	△54
為替換算調整勘定	233	49
持分法適用会社に対する持分相当額	20	8
その他の包括利益合計	831	54
四半期包括利益	144	1,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90	1,686
少数株主に係る四半期包括利益	53	37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称および事業の内容

名称	艾歐資訊横山(香港)有限公司
事業の内容	パソコン周辺機器の製造・販売

(2) 企業結合日 平成26年1月28日 (みなし取得日: 平成26年1月1日)

(3) 企業結合の法的形式 少数株主からの株式買取による完全子会社化

(4) 結合後企業の名称 変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

当社グループ内の連携の強化を進め、グループ全体の企業価値および経営効率の更なる向上を図るため、艾歐資訊横山(香港)有限公司の株式を追加取得致しました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、少数株主との取引として処理しております。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

(1) 取得原価及びその内訳

取得の対価	現金及び預金	225百万円
取得原価		225百万円

(2) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間
重要性が乏しいため記載を省略しております。